

## 第 18 期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 7 月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 「甘いものをつい食べてしまって、いや病気によくはないことはよ〜くわかっているんですけど、同僚が甘いもの勧めてくるから仕方ない、いくらアドバイスされてもねえ。」といわれるので、「それじゃいったんおいておいて、別の話をしよう。」とって話題を変えてみた。この態度は○か×か。
- 2 「確かに糖尿病は怖いですが、なんとか食事や運動もしなければならぬのだから、と考えるのですが、なにから手をつけていいのか」という患者さんには、生活行動を変えることでのメリット・デメリットを示し、それをどう考えるか一緒になってバランスを考えていく。
- 3 小学校高学年程度になったなら、能力の成長と社会的行動の発展にともなってインスリン自己注射や SMBG などの責任分担を本人へシフトする。
- 4 前回のセッションに比べて急に血糖管理が悪化した場合、食行動の変化、服薬忘れ・インスリンミスなどに焦点を絞ったセッションが望ましい。
- 5 患者さんが感情的になると、セッションが上手く進まないで、「そんなに怒ったりしないで、冷静にお話しましょう。」と諫める。この態度は○か×か。
- 6 我々に対して患者はこちらの話を聴いて欲しいと要求することもあるが、何よりも一般知識をまず指導してから個別の事情を聞くことにしなければ混乱を招く。
- 7 運動療法で、集に 3 回、20 分程度の食後の散歩をする、と患者が表明した。じゃあ、それはいつから始めますか？ と確認した。望ましい対応か。
- 8 グループワークを行う際には、全体の進行や流れが脱線しないように指導者の強いリーダーシップが第一の決め手となる。